

事務事業名	芳賀地区広域行政事務組合し尿処理参画事業				担当	市民生活部 環境課 ごみ減量係	
政策名	G	効率的で市民にわかりやすいまちづくり			増補版施策名		
施策名	3	広域行政・地域連携の充実			☐ 実施計画上の主要事業		
関連個別計画					事業期間	☐ 単年度のみ	
法令根拠	芳賀地区広域行政事務組合規約					☒ 単年度繰返（開始年度 昭和41 年度～）	
予算科目	1. 一般会計	4. 衛生費	2. 清掃費	3. し尿処理費		☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
事業概要	し尿処理は、芳賀都市清掃所が昭和41年4月から開始し、昭和46年4月に芳賀地区広域行政事務組合が事務を引き継いだ。 昭和57年4月に第2環境クリーンセンターが開設、芳賀都市清掃所の改修工事を行い、第1環境クリーンセンターが昭和62年4月に稼働した。真岡市・二宮町のし尿処理は、第2環境クリーンセンターで行っていたが、平成25年度から事務所を第1環境クリーンセンターに統合し、受付事務等を行っている。し尿処理負担金は、し尿処理実績に応じて構成市町で負担している。 平成31年度真岡市負担率 38.2611%（H29.11～H30.10実績）						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 31年度実績 ・負担金支払事務 2年度計画 ・前年度と同様				⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移 名称 単位 28年度(実績) 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(実績) 2年度(見込) ア 負担金額 千円 82,102 68,946 91,739 92,565 110,357 イ ウ エ オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・芳賀地区広域行政事務組合が、芳賀郡内の住民を対象に実施している				⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移 名称 単位 28年度(実績) 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(実績) 2年度(見込) ア 芳賀管内のし尿処理運営費 千円 209,272 181,845 238,937 241,929 291,516 イ 芳賀管内のし尿収集件数 件 33,692 31,876 30,335 29,989 28,890 ウ 芳賀管内のし尿処理量 k l 31,595 29,867 28,488 30,609 29,488 エ オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・し尿処理事業の円滑な運営を図る				⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移 名称 単位 28年度(実績) 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(実績) 2年度(見込) ア 市のし尿収集件数 件 13,624 12,717 12,139 12,049 11,585 イ 市のし尿処理量 k g 10,147 11,414 10,859 11,669 11,219 ウ エ オ						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） ・良好な生活環境の向上				⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移 名称 単位 28年度(実績) 29年度(実績) 30年度(実績) 31年度(実績) 2年度(見込) ア し尿収集が良いと感じている市民の割合 % 82.7 80.3 80.2 82.3 イ ウ エ オ						
(2) 総事業費の推移				単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	0	
			一般財源	千円	82,102	68,946	91,739	92,565	110,357	
			事業費計（A）	千円	82,102	68,946	91,739	92,565	110,357	
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	
			延べ業務時間	時間	4	4	4	4	4	
			人件費計（B）	千円	17	17	17	16	16	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	82,119	68,963	91,756	92,581	110,373	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等										
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？		・し尿処理を効率よく適正に処理するため、昭和41年度から構成員として参加したものである。								
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？		・公共下水道供用開始、合併浄化槽及び、農業集落排水の普及により、水洗化率が年々高くなってきているので、汲み取りは減少傾向にある。 ・平成25年度より、汲み取りの申し込みは第1クリーンセンターになった。								
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？										